

## 部活動と勉強に関する実態調査

# 保護者の3分の2、「部活動が勉強に良い影響」

## 理想の活動日数は“週3回”が最多

株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:下田勝昭)が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2019年5月15日(水)～5月29日(水)に、部活動と勉強に関する実態調査を実施し、中学1年生～高校1年生の子どもを持つ保護者189人の有効回答が得られました。

- 保護者の66.3%「部活動が勉強に良い影響を与えている」
- 部活動のデメリット「子どもの勉強時間が減る」が最多
- 理想の部活動の活動日数は「週3回程度」が最多 保護者の37.8%
- 「ゆる部活」を知っている保護者は17.4% 学校に「ゆる部活がある」は6.0%

栄光ゼミナール調べ

### <調査概要>

調査対象:中学1年生～高校1年生の子どもを持つ栄光モニター会員(栄光ゼミナール・栄光の個別ビザビに通塾する保護者)

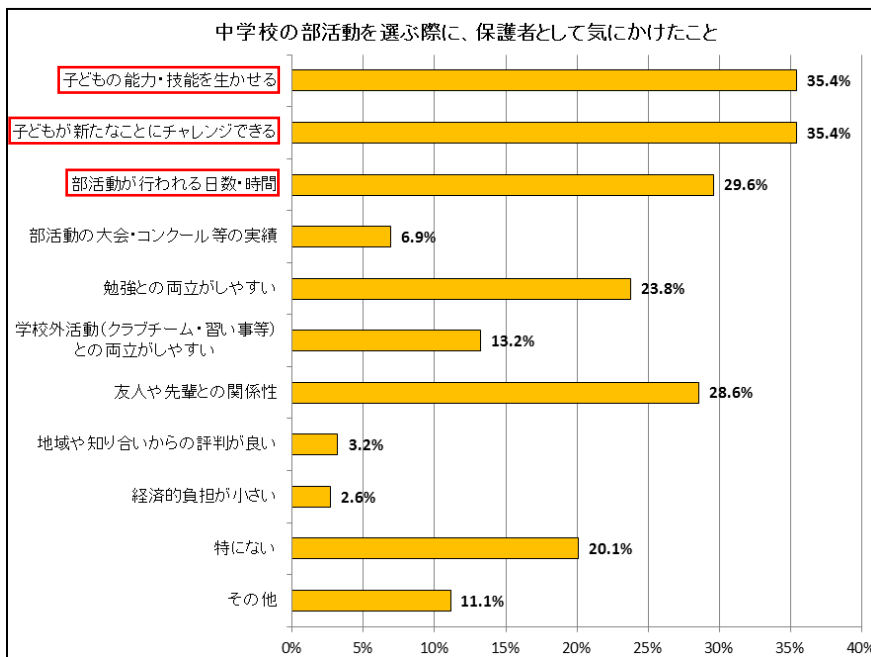
調査方法:インターネット調査

調査期間:2019年5月15日(水)～5月29日(水)

回答者数:189名

### 子どもが中学校の部活動を選ぶ際に、保護者として気にかけてたことは何ですか。

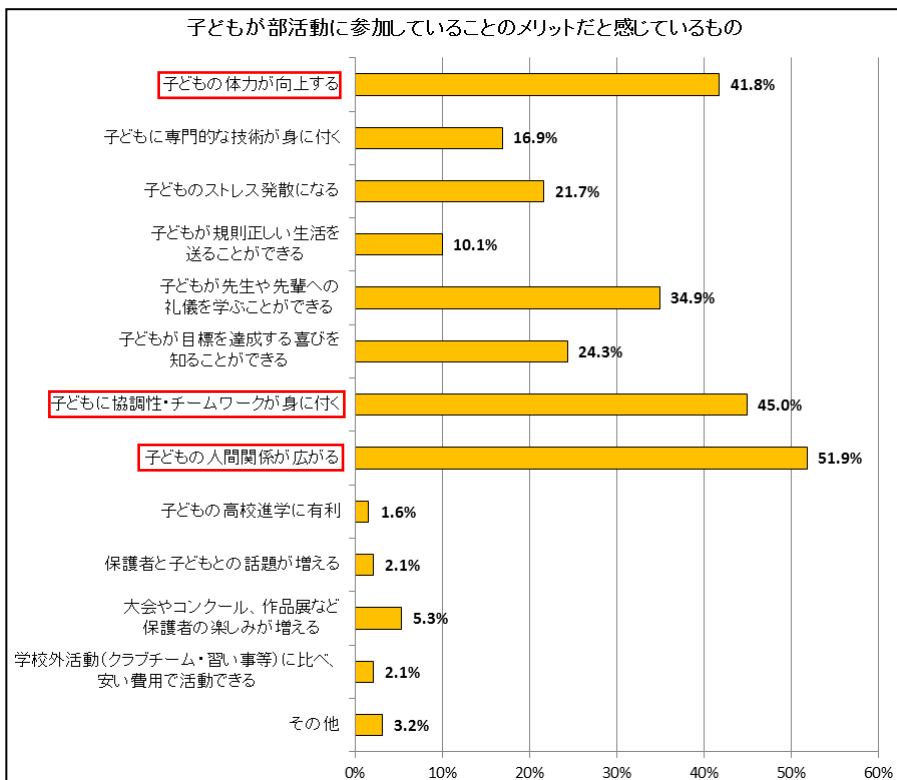
(n=189、総回答数397、複数回答方式)



保護者に、子どもが部活動を選ぶ際に、気にかけてたことを聞いたところ、「子どもの能力・技能が生かせる」「子どもが新たなことにチャレンジできる」が最も多く、それぞれ35.4%の保護者が気にかけてたことと回答した。「小学生の頃から習い事等でやっていたことを、中学校の部活動でも継続してほしい」という保護者と、「中学校入学を機に、新たなことに挑戦してほしい」という保護者がいるのではないかと考えられる。そのほか、「部活動が行われる日数・時間」や「先輩や友人との関係性」を気にかけてた保護者も多かった。

## 子どもが部活動に参加していることのメリットだと感じているものは何ですか。

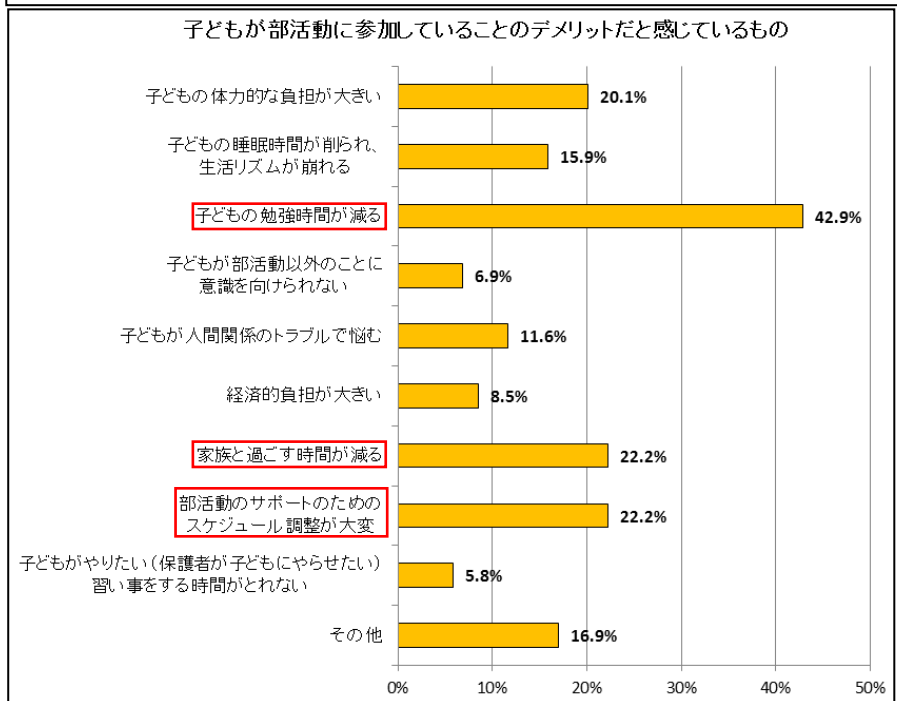
(n=189、総回答数 493、複数回答方式(最大3つまで))



子どもが部活動に参加しているメリットだと感じているものを聞いたところ、51.9%の保護者が「子どもの人間関係が広がる」ことをメリットと感じていることが明らかとなった。そのほか、「子どもに協調性・チームワークが身に付く」や「子どもの体力が向上する」なども、メリットと感じている保護者が多いことが分かった。

## 子どもが部活動に参加していることのデメリットだと感じているものは何ですか。

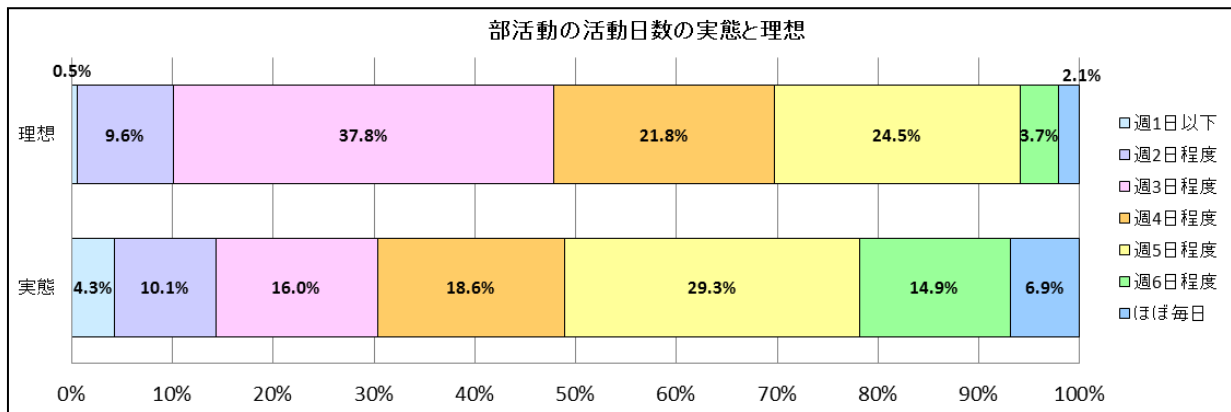
(n=189、総回答数 327、複数回答方式(最大3つまで))



子どもが部活動に参加しているデメリットだと感じているものを聞いたところ、最も多くの保護者が「子どもの勉強時間が減る」と回答した。そのほか、「家族と過ごす時間が減る」や「部活動のサポートのためのスケジュール調整が大変」も多かった。「その他」の意見の中には、「デメリットを感じていない」という回答も多くみられた。

**部活動は、週何回程度行われていますか。また、週何回程度が適切だと思いますか。**

(n=188、単一回答方式)



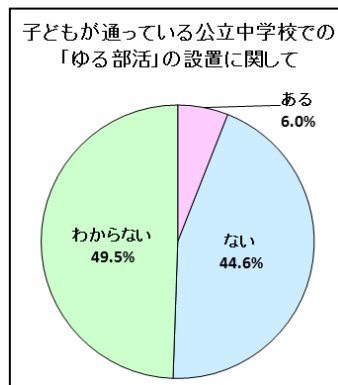
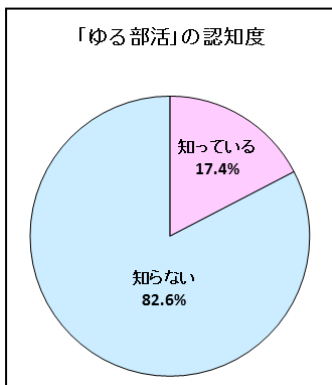
現在、部活動は週何回行われているか、また、理想の活動日数は週何回程度かを保護者を聞いた。現在の活動日数で最も多かったのは「週5回程度」で29.3%、次いで「週4回程度」の18.6%だった。また、保護者の37.8%が「週3回程度」が適切だと思っていることが分かった。

2018年5月に行った調査と比較すると、実際の活動日数は「週5回程度」が最多で変わらないものの、25.6%→29.3%に増加。最も増加したのは「週3回程度」で、10.7%→16.0%に変化した。最も減少したのは「週6回程度」で、23.9%→14.9%と、9.0ポイントも減っていることが明らかとなった。週6回から週5回に減った層があるとみられる。

スポーツ庁が2018年3月に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」では、週2日以上、休養日を設けることが記されている。また、2019年1月、文部科学省が週3日以上、休養日を設ける等、国の指針を上回る施策を実施している学校に対し、部活動指導員の配置補助金を優先配分する方針を固め、2019年度予算を増額している。これらを背景に、自治体や学校で活動日数を減らす傾向が強まっていると考えられる。

**「ゆる部活」を知っていますか。子どもが通っている公立中学校に、「ゆる部活」はありますか。**

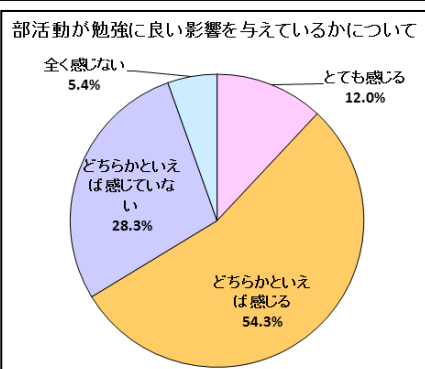
(n=184、単一回答方式)



競技志向の強い、今までの運動部活動とは異なり、体力向上や運動の楽しさを実感するための部活「ゆる部活」を設置する学校が出てきている(スポーツ庁ホームページより)。保護者に、「ゆる部活」を知っているかを聞いたところ、「知っている」と回答した保護者は17.4%だった。また、子どもが通っている公立中学校に「ゆる部活」はあるか聞いたところ、約半数の保護者が「わからない」と回答した。「ゆる部活」は保護者にとって、まだなじみがないものである現状が明らかとなった。

**部活動が子どもの勉強に良い影響を与えていると感じますか。**

(n=184、単一回答方式)



保護者に、部活動が子どもの勉強に良い影響を与えていると感じるかを聞いた。「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した保護者が66.3%にのぼり、約3人に2人の保護者が、部活動が勉強にプラスになっていると感じていることが明らかとなった。「メリハリをつけられる」「集中して勉強に取り組むことができる」「ストレス発散」などの効果を感じている保護者が多いと考えられる。また、子どもが部活動と勉強を両立できているかを聞いたところ、約75%の保護者が、勉強と部活動を両立できていると回答した。

**部活動と勉強を両立するうえで、感じていることを自由にお書きください。**  
**また、部活動と勉強を両立するための工夫があれば教えてください。**

(n=184、単一回答方式)

＜部活動に参加していて良かったこと＞

- ・部活動があり勉強にあてる時間が少ないことで、部活動と勉強のメリハリをつけられた。
- ・部活動のない日は、普段できない分の勉強を頑張っている。
- ・自分で納得して取り組んでいるので、責任感や自主性が育まれている。
- ・部活動引退後、受験勉強にきりかえても、集中して取り組むことができた。

＜部活動に参加していて大変なこと＞

- ・体力がなく、部活動が長い日は勉強時間がとれないことが悩み。
- ・塾の講習に参加するために、事前に顧問の了承を得る必要があり、大変だった。

＜部活動と勉強を両立する工夫＞

- ・部活動の予定を貼っておいて、勉強スケジュールを自分で考えさせる。
- ・睡眠や体を休ませる時間をとる。
- ・to do リストを作って、勉強を進めていました。

### 「栄光の個別ビザビ」で部活動と勉強を両立！

栄光ゼミナールの個別指導専門塾「栄光の個別ビザビ」では、部活動と両立しながら、目標が達成できるようサポートしています。“通塾曜日と時間が選べる”“振替授業が可能”なので、部活動で忙しい中高生も、無理なく勉強との両立ができます。

[栄光の個別ビザビ] <https://www.eikoh-vis-a-vis.com/>

・先生がぴったり寄り添う

一人で復習や予習をするのは、なかなか大変。ビザビなら、わかるまで先生がぴったり寄り添うから安心です。

・一人ひとりにオーダーメイドの学習プラン

苦手克服、成績アップ、受験対策など、それぞれの目標達成に最適な学習プランを一人ひとりにご提案します。

・「塾」を楽しむ

「解く楽しさ」「わかる楽しさ」「学ぶ楽しさ」を伝え、成績が上がって「自信がつく」ことでやる気を引き出していきます。



### 会社概要

中学受験、高校受験対策の学習塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国 700 教室超を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引き出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室等も運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 下田勝昭

設立： 1980 年 7 月

### 本件に関する問い合わせは

株式会社Z会ホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax：03-5275-1679 Mob：070-4036-1980

メールアドレス：proffice@zkai-hd.co.jp